



© 24 SANRIO CO., LTD. APPR. NO. L646652

NIE
教育に
しんぶん
新聞を

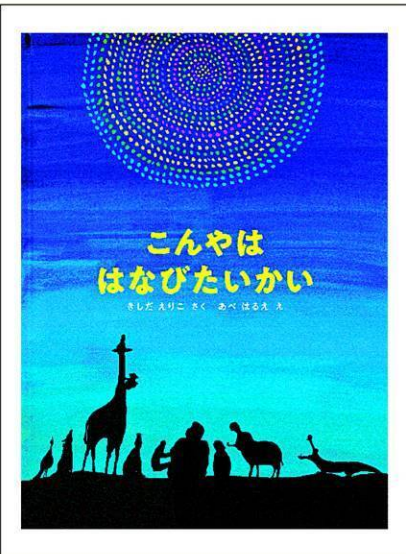
4

小学1・2年生向け

こんやは はなびたいかい

きしだえりこ さく あべはるえ え

今夜は川の向こうの花火大会です。色鮮やかなさまざまな花火が空いっぱいになり、大きな音も鳴り響いています。川のこちら側にある動物園からも花火がよく見えます。動物たちはどのように花火を楽しんでいるのでしょうか。どかーんという大きな音に驚いたアナグマは、穴の中にひっこんで出てきません。カピバラは花火には目もくれず、白菜とサツマイモの晩ご飯に夢中です。オオカミたちは花火の音に合わせて遠吠えをし、クジャクは羽を広げて花火と美しさを競っているかのようです。ほかにもゴリラやワニ、オットセイなどが登場します。花火が行われるこの時季にぴったりの一冊です。



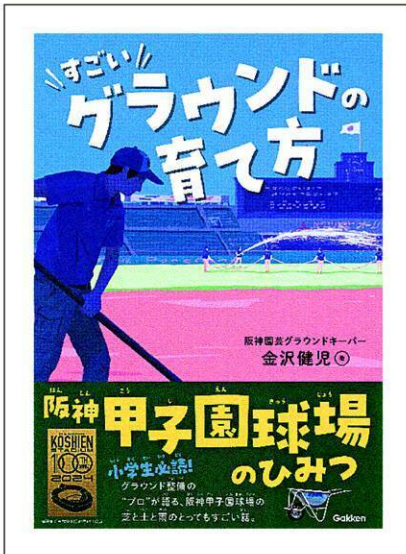
(福音館書店 1,100円)

小学3・4年生向け

すごいグラウンドの育て方

かなざわけん し ちよ
金沢健児著

皆さんは阪神甲子園球場で行われる野球の試合を見たことがありますか。甲子園球場は「野球の聖地」で「日本一水はけのよいグラウンド」と言われています。それはグラウンドキーパーの人たちが、土の補充や土おこし、芝刈りなどをして、いつも選手にとって「最高の状態」を保っているからです。高校野球の全国大会も行われるため、選手がケガをしにくいように、人工芝ではなく、天然芝を使っています。さらに、夏芝と冬芝の2種類を育てて、いつでも鮮やかな緑色を保つように工夫しています。この本でグラウンドの育て方を知り、今年の高校野球の試合は、グラウンドの土の状態や芝生にも注目しながら観戦してみてくださいはいかがでしょうか。



(Gakken 1,650円)

図書館へ



夏休みを楽しもう!!

夏休みも半分ほどが過ぎました。皆さんどのように過ごしていますか？今回は夏や夏休みにちなんで花火や自由研究、高校野球でおなじみの甲子園球場が出てくる本を紹介します。ぜひ本の中でも夏休みを楽しんでみてください。(山梨県立図書館 佐久間絵梨) =毎月第2週に掲載します

小学5・6年生向け

ブルーラインから、はるか

はやし 林 けんじろう作 坂内拓絵

広島県尾道市に住む6年生の庫太郎は、両親がけんかばかりしている家から逃げたくて、夏休みに毎日、図書館に通っていました。ある日、図書館で顔見知りになった4年生の風馬に「もしひまだったら、ぼくの自由研究につきあってほしいんだ」と声をかけられます。その自由研究とは、尾道市から愛媛県今治市まで、往復140キロにも及ぶ瀬戸内しまなみ海道ブルーラインコースを自転車で走り切ることでした。体の弱い風馬にサポートを頼まれて一緒にいくことにした庫太郎は、道中で風馬が今治市を目指す本当の理由を知ります。自転車の故障や大雨などさまざまな危機に直面し、協力して乗り越えていくうちに、2人の間に友情がめばえていきます。



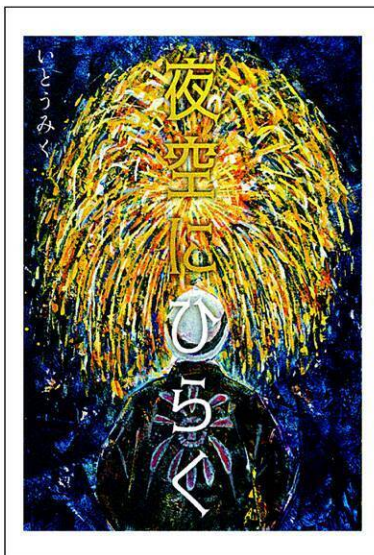
(講談社 1,540円)

中学生向け

夜空にひらく

いとうみく著

バイト仲間を殴り、傷害罪で家庭裁判所に送られた17歳の鳴海円人。試験観察期間の後に、処分が決められることとなり、その間山梨で煙火店を営む深見静一に預けられることになりました。深見家で静一の母まち子、住み込みの花火師で双子の健、康とともに暮らし、事務所の掃除などをして働きます。数カ月たったある日、円人は18歳の誕生日を深見家の人たちに祝ってもらいます。家族の温かさを感じ、サプライズの打上げ花火に心を奪われた翌日、静一に「花火の仕事、やってみないか」と誘われます。円人は、自立への焦りを抱え、再び自分が罪を犯すのではないかと恐れながらも、周囲の人たちに見守られながら居場所を見つけたいこうとします。



(アリス館 1,760円)